式典・催しや、連合組織の定期大会、国会内外での各種会議に出席、 たくさんの皆さまへご挨拶や意見交換をさせていただきました



8月 大子町の「新庁舎竣工式典」 に出席、新庁舎を見学



8月 那珂市「なかひまわり フェスティバル」にて挨拶



10月 連合茨城常陸那珂地区協 列島クリーンキャンペーンに参加









10月 都内で開催された「茨城ふるさとフェア」に参加



11月 ひたちなか市 「産業交流フェア」に出席



10月 連合茨城第30回定期大会



第17回定期大会にて挨拶



11月 土浦花火競技大会 清掃ボランティアに参加



11月 UAゼンセン県支部 三役会議で意見交換



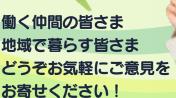
11月 森林環境政策議員懇談会



11月 ILO活動推進議員連盟 総会に出席



文型以 から 目 な を 質 随 尼



堂込麻紀子茨城事務所

堂込麻紀子国会事務所



1975(昭和50)年9月16日 茨城県阿見町生まれ 47歳 阿見町立阿見第一小学校、阿見町立竹来中学校、茨城県立土浦第二高等学校、 流通経済大学社会学部社会学科卒業

ジャスコ(株)入社 (現イオンリテール(株)) 笠間、今市、下妻店などに勤務 2012年10月

プ議長、海外グループ(カンボジア・中国)などを担当

連合茨城執行委員、女性委員会幹事、UAゼンセン茨城県支部運営評議員 第26回参議院議員通常選挙茨城選挙区で初当選、参議院財政金融委員会委員



〒310-0022 茨城県水戸市梅香2-1-39 茨城県労働福祉会館3階

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1参議院議員会館607号室

TEL: 029-306-6444 FAX: 029-231-2617

TEL: 03-6550-0607 FAX: 03-6551-0607





茨城から日本を笑顔に

SMILE NEWS

討議資料

VOL.

2022.後期



日頃のご支援に心より感謝申し上げます。

2022年夏の第26回参議院議員選挙茨城選挙区において 初当選させていただき、参議院議員としての活動が始まっ てから今日まで、無我夢中の勉強の日々でした。

第210回臨時国会では、所属する財政金融委員会で3回 質疑に立ち、財務大臣や日銀総裁へ諸課題について問う機 会がありました。また拉致議連(北朝鮮に拉致された日本 人を早期に救出するために行動する議員連盟)をはじめ超 党派の議員連盟にも参加し、活動をしています。

3年にわたる新型コロナウイルス感染症の拡大及びウク ライナ情勢の悪化を受けたエネルギー・資源価格や食料価 格等の急騰、急激な円安の進展は、日本経済に多大な影響 を及ぼしています。コロナ禍からの回復の途上にある我が 国の国民生活に大きな打撃を与えており、着実な支援策を 充実させていく必要があります。財政金融委員会等におい て、引き続き生活者・働く者の視点で政府を質していく所

2023年は私の干支である卯年です。山積する課題に取 り組み、皆さまと手を携えながら、飛躍の年となるよう精 一杯努めてまいります。

参議院議員 堂込 麻紀子

SMILE NEWSは公式ホームページからも ダウンロードしてご覧いただけます

発行: 笑顔の茨城を創る会 茨城県水戸市梅香2-1-39 茨城県労働福祉会館3階 TEL: 029-306-6444 FAX: 029-231-2617



働く仲間の代表として更なる飛躍を

連合茨城 会長

日頃から「堂込まきこ」参議院議員に対するご支援をいただいております、すべての皆様 に心から感謝を申し上げます。

2022年7月10日(日)に施行されました、第26回参議院議員選挙(茨城県選挙区)において は、私たち働く仲間の代表として4期24年間ご活躍をいただいた「ぐんじ彰」氏の後継とし て、連合茨城構成組織は勿論のこと、立憲民主党茨城県連、国民民主党茨城県連の英断をい ただいた中で、2党1団体が1つになって選挙戦に臨めたことが何より嬉しく有難いことで ありました。

当選後、8月3日に初登庁された時に、参議院議員になったことを改めて実感し、責任の 重さをヒシヒシと感じられたことと思います。

10月3日から臨時国会が開会されました。財政金融委員会に所属し、既に質疑に立たれて 初めての委員会質疑を見た時に、感極まるものがありました。

2党1団体の枠組での支援活動が本格的に始動したのは4月29日からでした。それ以降 は、ほぼ毎日顔を合わせ、各組織への挨拶回りに取り組んできました。選挙期間中も何もト ラブルはないか、困っていることはないか、連日の猛暑の中で体調は大丈夫なのかと心配で 後ろから見ていました。でも、そんな心配は無用でした。演説を聞いていても、回数を重ね るごとに、自らの経験を踏まえながら、自分の考え方や働く仲間・地域で生活する人々の立

場・目線で、堂々たる態度で質疑し続けている姿は、とても眩しく見えました。 国会においては、政党には所属せず無所属で1人会派での活動になっており、組織内議員とは言いながらも活動に制約もあります。そのことについても、出馬される時の様々な環境 から、ご自身の置かれている立場を十分理解していただいており、頭の下がる思いです。

任期6年間の中で、いろいろなことを吸収し、茨城県内の課題、各構成組織の状況を良く見ていただきながら、すべての働く仲間の代表として、茨城県の代表として、私たちにとって欠かすことの出来ない参議院議員になってくれるものと確信しています。

「堂込まきこ」参議院議員の側にいる存在として、連合茨城はしっかりサポートをしてい きます。私自身も同様です。連合組織内議員は勿論ですが、茨城県選出の国会議員を始め、 県議会議員、各市町村会議員との連携を図りながら、大きく羽ばたいていただきたいと思っ

頑張れ!「堂込まきこ」参議院議員。いつまでも応援していきます。







堂込まきこの歩み~

城選挙区において















に参議院議員として6年間の任期がスタート 8月3日から3日間の会期で開かれた第209回臨時国会では







地域経済の下支え、賃上げの実現に向けて実効性ある施策を

11月1日は、鈴木大臣はじめ財務省・金融庁に対し、茨城県の経済状況を伝えな 地域経済を支える地域の金融機関に対し、「より実効性のある支援策に取 り組むべき」と求めました。また、パートタイマーなどで働く人々が、さらに働 きやすくなるための税制の在り方を問い、「働く意欲のある人、が希望する働き 方を公平に選択することができる社会をつくるのが政治のやるべきこと」である と訴えました。大企業向けと言われる賃上げ促進税制については、「中小企業や そこで働く方にとって、着実な賃上げにつながる支援策が必要である」と訴えた ところ、鈴木大臣から「中小企業を含めた構造的な賃上げの実現に向けての取り 組みを進める」との答弁がありました。



物価高騰に対し、日銀・政官民で連携して取り組みを

11月10日は、黒田総裁はじめ日銀に対し質疑を行いました。

物価高騰により日々の生活への負担感が増している中、コロナ禍からの回復の途 上にあって賃金の上昇が必ずしも十分ではない現状に対し、日銀の金融政策の意 図を質しました。

黒田総裁からは「現在の金融緩和を継続することで経済をしっかりと支え、賃金 の上昇を伴う形で物価安定の目標を持続的に実現する」との答弁がありました。 また、デジタル化が進み利便性が高まる一方で、現金に触れる機会が減少する子 どもたちに対して、「お金の大切さ」を認識する金融経済教育が重要であるとの 考えを伝えたところ、「金融広報中央委員会の事務局として金融経済教育に関係 する日銀として、さらに金融教育の推進に努める」との答弁がありました。



軽減税率制度の事業者負担についての検証を求める

11月17日は、鈴木大臣はじめ財務省に対し、軽減税率の導入による事業者の負 担、インボイス交付免除の特例、奨学金を自ら返済している人に対する支援策に ついて質疑を行いました。

軽減税率の導入に伴い、システムの切り替えや事務負担など事業者にどれくらい の負担が生じているか把握・分析し、費用対効果に合った施策になるよう検証す ることを求めました。

財務省からは「定量的に把握・分析することはなかなか難しいが、簡素性や事務 負担の面についても十分な配慮が必要と考える」との答弁がありました。

また、さまざまな事情がある中で意欲を持って進学し、卒業後に自ら真面目に奨 学金を返済している人に対して、所得控除など何らかの税制上の優遇措置を設け る等の支援策を検討するよう求めました。

「参議院インターネット審議中継」で質疑をご覧になることができます。ぜひご視聴ください!





